

コード	102020101
記入日	H21.6.8

課コード	108
課名	まちづくり推進課
課長名	竹中次郎
担当者	川口 力

## 事務事業事後評価表

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	都市との交流推進事業費	事業種類	単年度繰返事業
		事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 20 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	2
施策コード	102	施策名称	しまの交流ネットワークづくり	項コード	1
基本事業コード	10202	基本事業名称	交流ネットワークの形成	目コード	6
事務事業コード	1020201	事務事業名称	交流推進事業費	細目コード	
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町しまのブランド化推進事業補助金交付要綱		

**計画(PLAN)** ※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象: 誰、何を対象にしているのか		対象指標: 対象の大きさを表す指標				
(対象1)	住民	(対象指標1)	24,299人(H20.3末)			
(対象2)	観光客述べ数	(対象指標2)	191,044人(H20年度)			
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(事業採択) 37事業提案 うち33事業採択 うち2事業取り下げ (事業内容) 観光振興事業 12事業 観光PR商品整備事業 7事業 受入態勢整備事業 2事業 土産・特産品開発事業 7事業 定住対策事業 2事業 人材育成事業 1事業	(事業採択) 4事業提案 うち4事業採択 (事業内容) 観光振興事業 2事業 特産品開発事業 2事業	採択件数	33件	89%	採択件数÷提案件数	平成20年度
		採択件数	4件	100%		平成20年度
		① (達成率分析) 事業募集をかけ、4件の提案があり、審査の結果、4件を採択した。				
		② (達成率分析)				
目的: 何をしたいのか		成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)				
都市との交流を推進する以下の事業を行い、地域を活性化させることを目的として、オーライ上五島に補助金を交付し、民間の視点で事業を採択し実施した。 ①観光振興及び体験交流メニューの開発及び商品化 ②観光振興及び交流拡大に資する人材の育成 ③新たな特産品の開発・商品化及び販売促進等の物産開発・流通事業 ④Uターンを推進する定住促進事業等 ⑤全各号に定めるもののほか、町長が必要と認める事業		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		事業達成件数	31件	94%	達成件数÷採択件数	平成20年度
		事業達成件数	4件	100%		平成20年度
		① (達成率分析) 採択事業4件については、計画どおり事業が達成したことを実績報告により確認した。				
		***	***	***	20年度観光客述べ数÷計画観光客述べ数	***
		観光客述べ数	191,044人	93.7%		平成20年度
		② (達成率分析) 教会めぐり等旅行企画商品による集客は伸びているものの、原油価格高騰による交通運賃の値上げ、夏の多客期の船舶の欠航等が影響し、観光客延べ数で対前年度6.3%(12,841人)の減となった。				

**実施(DO)** ※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 17 ~ H 20		平成19年度以前	平成20年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 件	37	33	29	5	4
	②					
成果指標	① 件	33	31	27	4	4
	② 人	407770	394929	203885	203,885	191044
総事業費C(A+B)	千円	30,372	29,997	25,572	4,800	4,425
直接事業費A	千円	17,772	17,397	15,772	2,000	1,625
人件費B	千円	12,600	12,600	9,800	2,800	2,800
内訳	従事職員数	人	1.8	1.4	0.4	0.4
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円	11,185	11,185	11,185	
	起債	千円				
	その他	千円				
一般財源	千円	19,187	18,812	14,387	4,800	4,425

コード 102020101

**評価(CHECK)** ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 交流人口拡大に資する事業を町民が自ら考え実践し、起業できる体制を整備する必要があった。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい ● いいえ	理由 行政主導ではなく、町民と協働して交流人口の拡大に資する事業を展開する必要があった。
	事業の対象・目的は適切でしたか。	● はい ● いいえ	理由 補助金の趣旨どおりであり、適切であった。
有効性	事業の目的は達成されましたか。	● はい ● いいえ	理由 受入態勢の整備、特産品の開発など、交流人口を拡大する事業ができつつある。
	成果を向上させる余地はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 補助制度の周知徹底を図ることにより、事業提案が増え、住民の意識も高まり、成果は向上する。
	事業を行わない場合の影響はありませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 事業を町民が自ら考え行政と協働しながら実践する機運が醸成されつつあるが、補助金がなくなると意識が停滞する。
	類似事業との整理統合はできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 類似事業がない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 補助金交付制度に沿って交付しており、削減できる経費がない。
	人件費を削減することはできませんでしたか。	● はい ● いいえ	理由 最小の人員で行っている。
	受益者負担は適正でしたか。	● はい ● いいえ	理由 要綱に沿っており、適正であった。

**改善(ACTION)**

1次評価	○今後の関連事業に対する改善点  これまで年に数回の募集により行っていたが、平成21年度から産業起業支援事業補助金により、即時対応することとした。
	○目的が達成されていない場合の課題と改善策  地域にある資源を活用することにより、民間の起業支援を行い交流人口の拡大を図っていく。
2次評価	地域を活性化させることを目的とし、都市との交流を推進する事業を、民間である「オーライ上五島」に補助金を交付し実施してきたが、その成果を生かすと共に、今後は産業起業支援事業補助金事業の周知に努め、行政として支援体制をとること。

住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。